

AndroidデバイスでサポートされるCisco AnyConnectセキュアモバイルクライアントの機能

目的

Cisco AnyConnectセキュアモバイルクライアントは、Cisco AnyConnect VPN Clientとも呼ばれ、さまざまなオペレーティングシステムやハードウェア構成で動作するバーチャルプライベートネットワーク(VPN)に接続するためのソフトウェアアプリケーションです。このソフトウェアアプリケーションを使用すると、ユーザがネットワークに直接接続されているかのように、他のネットワークのリモートリソースに安全にアクセスできるようになります。Cisco AnyConnectセキュアモバイルクライアントは、コンピュータベースまたはスマートフォンのプラットフォームでモバイルユーザを保護する革新的な新しい方法を提供し、よりシームレスで常に保護されたエクスペリエンスをエンドユーザに提供し、IT管理者に包括的なポリシーを適用します。

このドキュメントの目的は、Androidデバイス用のCisco AnyConnectセキュアモバイルクライアントの機能マトリクスを示すことです。

[Software Version]

- 4.4

Android AnyConnect機能マトリクス

導入と設定

Application Storeからのインストールまたはアップグレード	Yes
Cisco VPN Profileのサポート (手動インポート)	Yes
Cisco VPN Profileのサポート (接続時にインポート)	Yes
モバイルデバイス管理(MDM)で構成された接続エントリ	Yes
ユーザ設定の接続エントリ	Yes

トンネリング

Transport Layer Security(TLS)
データグラムTLS(DTLS)
Internet Protocol Security Internet Key Exchange version 2 Network Address Translator Traversal(IKEv2:Raw Encapsulating Security Payload(ESP)
スイートB (IPsecのみ)
TLS圧縮
デッドピア検出
トンネルキーブアライブ

複数のアクティブなネットワークインターフェイス
アプリ単位トンネリング(PlusライセンスまたはApexライセンスとASA 9.4.2以降が必要)
完全なトンネル(OSが一部のトラフィック (アプリケーションストアへのトラフィックなど) を例 ます。
スプリットトンネル (スプリットインクルード)
ローカルエリアネットワーク(LAN) (スプリット除外)
スプリット : ドメインネームシステム(DNS)
自動再接続/ネットワークローミング
VPNオンデマンド (宛先によってトリガー)
VPNオンデマンド (アプリケーションによってトリガー)
キー再生成
IPv4パブリックトランスポート
IPv6パブリックトランスポート
IPv4 over IPv4トンネル
IPv6 over IPv4トンネル
Default Domain
DNSサーバの設定
プライベート側プロキシサポート
Proxy Exceptions
パブリック側プロキシサポート
ログイン前のバナー
ログイン後のバナー
DiffServコードポイント(DSCP)の保持

接続と切断

VPN ロードバランシング	Yes
バックアップサーバリスト	Yes
最適なゲートウェイの選択	No

[Authentication]

クライアント証明書認証	Yes
オンライン証明書ステータスプロトコル(OCSP)	Yes
手動ユーザ証明書管理	Yes
手動サーバ証明書管理	Yes
Simple Certificate Enrollment Protocol(SCEP) (SCEP)レガシー登録プラットフォームを確認してください。	Yes
SCEPプロキシ登録プラットフォームを確認してください。	Yes

	s
自動証明書選択	Yes
手動証明書選択	Yes
スマートカードのサポート	No
ユーザ名とパスワード	Yes
トークンまたはチャレンジ	Yes
二重認証	Yes
Group Uniform Resource Locator(URL) (サーバアドレスで指定)	Yes
グループ選択 (ドロップダウン選択)	Yes
ユーザ証明書からのクレデンシャルのプリフィル	Yes
パスワードの保存 (Save Password)	No

ユーザ インターフェイス

スタンドアロングラフィカルユーザインターフェイス(GUI)	Yes
ネイティブオペレーティングシステムのOS GUI	No
アプリケーションプログラムインターフェイス (API)/URI (Uniform Resource Identifier)ハンドラ (URI処理を 参照してください)	Yes
UIのカスタマイズ	No
UIローカリゼーション	はい、アプリにはパッケージ化されます。
ユーザ設定	Yes
ワンクリックVPNアクセスのホーム画面ウィジェット	Yes
AnyConnect固有のステータスアイコン	Optional

モバイルポスチャ

シリアル番号または一意のIDチェック	Yes
ヘッドエンドと共有されるOSおよびAnyConnectバージョン	Yes

URI処理

接続エントリの追加	Yes
VPNへの接続	Yes

接続時のクレデンシャルの事前入力	Yes
VPNの切断	Yes
証明書のインポート	Yes
ローカリゼーションデータのインポート	Yes
Extensible Markup Languageのインポート (XML)クライアントプロファイル	Yes
URIコマンドの外部(ユーザ)制御	Yes

レポートとトラブルシューティング

統計情報	Yes
ロギング/診断情報(DART)	Yes

認定

FIPS 140-2レベル1	Yes

RV340シリーズルータのAnyConnectライセンスの詳細については、「[AnyConnect Licensing for the RV340 Series Routers](#)」を参照してください。